

2024年 1月 7日 《誕生祝福式》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 新聖歌20番「主のまことはくしきかな」
～高い山に登ろう！～

平和の祈り

聖書朗読 イザヤ書43篇18～21節

特別賛美 サインダンス

メッセージ 「2024年、わたしは新しい事をなす」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌539番「見ゆる所によらずして」
(能登半島地震の支援献金として)

賛 美 ～主は御座におられる～

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ～見よ、わたしは～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日の礼拝献金は「令和6年能登半島地震」の支援献金としておささげします。

☆今週の祈り会：①早天祈禱会 明朝6時、②祈禱会：木曜午前10時半、
夜7時半（大和祈禱会ライブ映像）。 ③準備祈禱会：土曜夜8時。

★今年の御言葉（詩篇23篇6節）の紙をお用いください（一枚10円コピー代）。

☆2024年の「祈りのリスト」「今年目標」をご提出ください。共にお祈り致します。

★来週日曜礼拝では、寺澤潤一兄の召天一周年の記念の時[16日召天]を持ちます。

★☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/7-14]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	創世記 21-23	24	25-26	27-28	29-30	31-32	33-35	36-37
チェック	〇〇〇	〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇

「2024年、わたしは新しい事をなす」

～主の恵みとあわれみを信じ続ける！～

「ほんの僅かな間、私はあなたを捨てたが、深い憐れみをもって、あなたを連れ戻す。怒りが溢れ、僅かな間、私は顔をあなたから隠したが、とこしえの慈しみをもってあなたを憐れむ——あなたの贖い主、主は言われる。」
イザヤ書54章7、8節協会訳

2024年が始まった直後に、能登半島を震源とするマグニチュード7.6の強い地震がこの日本を襲いました。また、翌日には、羽田空港において、大きな飛行機事故が起きてしまいました。お正月のおめでたい期間に、これだけの悲劇が起きてしまうと、2024年、今年是一年どうなってしまうのだろうか？と正直、誰もが感じてしまった状況だったと思います。

しかし、今年与えられみことばは、詩篇23篇6節「わたしの生きている限りは必ず恵みとあわれみとがわたしを追いかけてきます」という素晴らしい祝福に満ちたみことばです。その数節前には、「たといわたしは死の陰の谷を歩むとも…」と「あなたはわたしの敵の前で…」という苦しみを通過しています。しかし、たとえそうであっても、主にあって、私たちには恵みとあわれみが追いかけて来るのだ！と宣言しています。何という信仰、何という告白でしょうか！

横浜市でこの教会と同じ支教会の一つである「ニュータウンカルバリーフェロシップ」を開拓しておられる、梶山直樹先生のご実家が能登半島にあり、いとこの方々が、珠洲市、輪島市、七尾市におられ、安否が確認できていないということで、支援物資を調達し、支援と安否確認のために出掛けて、その安否が確認できたことのご報告をしてくださいました。そのご報告をお聞きして感じたのは、直樹先生ご自身も、また、先生の伯母である故井上金子先生も伝道者で、郷里伝道を継続して来られたこと、また、従弟の梶山献一先生も現在、七尾市で牧師としてご奉仕されていますので、あの地域にはこれまでも長年、福音宣教がなされてきたこと、また、その他にも、多くの諸教会、宣教師、伝道者の方々が福音を伝えて来られたこと。その福音の種が芽を出して、神の国が広げられている中での、今回の大きな地震。しかし、神様はこの大きな試練を通して、希望の光、救いの業をなし続けてくださることを信じています。そして、今回上記のイザヤ書54章7、8節が心に留まりました。今回の大いなる痛みを通して、神様は能登半島だけではなく、日本全体に豊かなあわれみを注いでくださると信じ、宣言したいと思います。

今年与えられた標語のみことばは、新年早々に真実であると宣言することができます。今年、私たちの歩みの中で、様々な闘いや、痛み、悲しみが襲って来ることが考えられますが、たとえ、そのような状況に私たち自身が出会ったとしても、「わたしには恵み(goodness=良い事)とあわれみ(love=愛)とが追いかけてくる」ことを信じて進んでいきたいと思えます！